

大久野島未来づくりワークショップ

第3回：2019年12月20日（金）13:00-16:00 竹原市民館



課題へのアイデアを出しました！

3回目となる今回は、課題解決に向けた行動案（アイデア）をたくさん出し、解決方法の検討をすることを目的に、ワークショップが開催されました。その材料としたのは、1回目で共有された参加者それぞれの視点から見た大久野島の課題や、2回目の勉強会・ワークショップの中で知ったウサギや平和、観光などの面での大久野島の歴史や現状です。

参加者は36名で、全体ファシリテーターの進行のもと、各グループでのファシリテーター及び記録者が作業の補助を行い、活発にアイデアが交わられました。

3

視点

「全体」「ウサギ」「観光」の3グループで検討

108

アイデアの数

グループで検討された行動案（アイデア）

66

合意

グループ内で合意が取れたアイデア数。全体での合意はこれから



環境省中国四国地方環境事務所 常富統括より開会の挨拶



各グループとも真剣かつ和気あいあいと



緊急・重要・注意の観点からアイデアを評価



成果の貼り出し

ウサギの病理について

前回の勉強会で報告した現状把握調査結果の補足として、獣医師の野田亜矢子さんから解説がありました。ウサギから確認されたウイルスや病原菌は、ウサギが高密度に生息することで、ストレスがかかり免疫力が下がって発症することや、高密度になることで蔓延しやすくなり、ウサギにとっては脅威であることが示され、大久野島の現状では明らかにウサギの個体数がオーバーしていることを指摘されました。

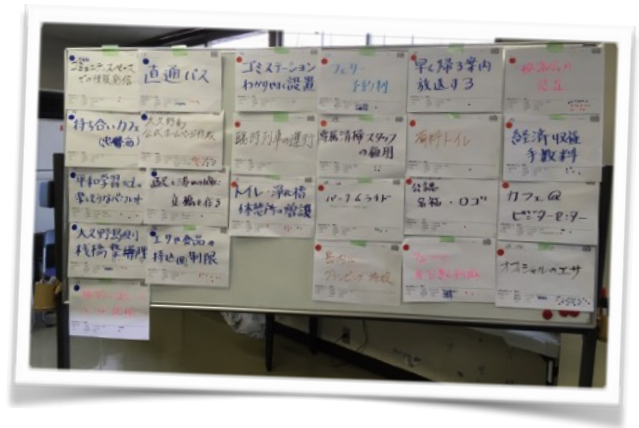
グループワークでアイデア出し

これまでのワークショップの中で課題として出て来た項目を「全体」「ウサギ（ふれあい）」「ウサギ（管理）」「観光」に分け、希望を募って6グループに分かれました。その課題に対する解決するためのアイデアを自分で考え、グループ内の参加者で共有しました。それをアイデアシートに書き込みます。対策に加え、対策に必要なツールや関係者にもチェックを入れ、より具体的に絞り込みました。

グループ内でアイデアシートを作成した後は、別のグループを見て回り、追加したい意見の提案を行い、より多くの声を届けました。

個々でも評価

元のグループに戻り、他グループからの意見を取り入れながら、アイデアシートを精査した



上で、グループ内で「合意が取れたもの」「まだ協議が必要なもの」の2つに分けました。

アイデアシートをグループごとに貼り出し、一覧できるようにしました。その後、参加者一人ずつ3種類のシールが手渡され、アイデアに対する評価を行いました。「緊急」「重要」「注意」の3つの視点で、たくさんあるシートをじっくり眺めます。どのグループにも共通して「ルールやマナーづくりをする場」というアイデアがありました。

多くシールが貼られているものに関心を引きませんが、シールが多いアイデアだけを実施するのではなくあくまで指標であることが、全体ファシリテーターより告げられました。

次回に向けて

最後となる第4回ワークショップでは、大久野島の将来像を具体的に検討します。島で行われている活動について、一定の方向性を共有できるように、グループワークを行う予定です。

次回のワークショップ開催について

第4回ワークショップは1月17日(金)に竹原市民館で開催されます。非公開となります。

また、大久野島未来づくりワークショップ4回の報告をする公開シンポジウムの開催が決定しました。

日時：2020年2月11日(火・祝) 13:30~16:30

場所：サテライトキャンパスひろしま(広島市中区大手町1丁目5-3 広島県民文化センター5階)